

「情報処理」第9巻 総目次

	号-頁
会長挨拶	出川 雄二郎 3-121
学会と情報産業	出川 雄二郎 3-121
講演	
最近のデータ伝送	砂川 博 1- 1
シミュレーション用言語の開発	G. Gordon 2- 61
ハードウェア技術の動向	高橋 茂 2- 71
ソフトウェア技術の動向	和田 英一 3-122
マルチアクセス計算機システム	Maurice V. Wilkes 4-181
米国におけるコンピュータ・ユーティリティの現状	林 一郎 5-241
論文	
構造をもった言語に対する会話的プロセッサ	{牛島和夫 1- 7 有大田五郎 槻説乎
2変数関数を積の形で近似することについて	一松 信 1- 14
Kutta-Merson Process とその類似の方法について	田中正次 1- 18
KEIO-TOSBAC タイムシェアリングシステム	{土居範久 2- 80 小藤文英 堀英雄
計算機システムの最適化制御	大須賀節雄 2- 88
自動フロー・チャートニング	前川 守 3-129
Green 関数による Helmholtz の方程式の固有値問題の数値解法	{扇谷紳一 3-137 石桁正士
チェビシェフ補間多項式による関数の逐次近似	{鳥居達生 3-143 牧之内三郎
最小2乗法における不良データの影響	石川 甲子男 3-148
Compiler 記述言語: COL	{萩原宏 4-187 渡辺勝正
準安定な補間過程の一構成法	鳥居達生 4-197
ランダム・ウォーク・プロセスを利用した乱数検定法の感度	石桁正士 4-205
LISP コンパイラの作成	{浅井清生 5-253 稲見泰生
打ち切り誤差評価の能力をもつ Runge-Kutta 型公式について	田中正次 5-261
Skip 方式 Scheduling Algorithm	{橋本昭忠 5-272 若山洋雄
文字図形の重心とひろがりについて	{吉村ミツ生 5-277 山崎一泰 飯島生蔵
データ自動圧縮編集機能を持つ KWIC 索引システム	植村 俊亮 6-301
漢字の陰極線管表示方式	{中摩雅年吉本 悠久 後藤明也吉本内 悠久 日高 滋 慶光 6-310
2次元番地付方式による HITAC 5020 TSS の特徴	{本林繁勝枝嶺雄 6-317 益田隆司高橋延匡
HITAC 5020 TSS のファイル・システム	{益田隆司高橋延匡 6-326 本林繁

TSS用通信制御装置のプログラム.....和田英一 6-335

報 告

1967年における規格委員会の活動.....和田弘 4-211

IFIP 活動状況について.....後藤英一 6-344

IFIP Congress '68 の論文発表, その他.....中西俊男 6-345

IFIP 展示会の印象.....松下重憲 6-347

IFIP/TC 2 (Programming Language) の Working Group 国際会議について.....岩村 聯 6-349

プログラムのページ

6801 二進加法.....一松 信 1- 39

6802 不完全ベータ関数 $I(x, a, b)$ 計算とその応用例.....戸田英雄 1- 40

6803 プラパズル-Tetrahexes.....一松 信 2- 98

6804. Pattern Following Program.....相馬 嵩 3-157

6805. 二進加法 (続).....一松 信 3-160

6806. 単純な読み書き.....西村 恕彦 3-160

6807. Digital Plotter の制御.....相馬 嵩 4-219

寄 書

ブロック線図のデジタル・シミュレーションに関するプログラム作成の一方法.....的場 進 1- 31

品名の電子計算機への直接入力について.....高木 秀雄 2-103

ゼロの多い Array のメモリ縮約の一方法.....石 黒 美佐子 6-351

談 話 室

大学教養課程における多人数の計算機実習.....石 田 晴 久 1- 36

プロッタによる漢字書き.....{ 洪 谷 政 昭 3-162
原 文

記号式採点法.....中野 猛 夫 4-221

2本の磁気テープによる分類.....植 村 俊 亮 4-223

Bessel 函数 Subroutine の精度検定について.....{ 和 田 英 一 5-285
山 本 教 子

靴紐の話.....中野 猛 夫 6-352

コボル短信 (1).....西 村 恕 彦 6-355

68-61. 国語研究所と計数言語学..... 5-294

68-62. 漢字ディスプレイ装置..... 5-294

計数言語学調査セミナー論文紹介

68-52. 過去2年間の機械翻訳..... 5-289

68-53. 標準外の文字の図式入出力..... 5-289

68-54. 言語学における国際的な情報の流通..... 5-290

68-55. 主語の概念に関する若干の考察..... 5-290

68-56. 技術と教育に関する展望..... 5-291

68-57. 言語行動のモデルへのアプローチ..... 5-291

68-58. 日本語と英語の自動分析への意味論
的アプローチ..... 5-292

68-59. 計算機から見た人間言語..... 5-292

68-60. 言語問題への技術的アプローチ..... 5-293

文献紹介

68-1. 200 ns 磁性薄膜記憶装置..... 1- 43

68-2. UNICON 計算機用超大容量メモリシ
ステム..... 1- 43

68-3. 光学デジタル超大容量記憶システ
ム..... 1- 44

68-4. 簡単な自己増殖型万能オートマトン ... 1- 45

68-5. 1. 計算機のための図形処理システム... 1- 46

2. 図形処理装置のプログラミング

3. 計算機による3次元映画の作成
4. 図形データ出力の二, 三の応用
- 68-6. 操業管理における段階的拡張 1- 47
- 68-7. 中共の計算機技術 1- 47
- 68-8. 読解検査法と主観的判断法とによる
機械翻訳の評価 1- 48
- 68-9. 障害シュミレータの設計と応用 1- 48
- 68-10. MAX-MIN の理論とその応用 1- 49
- 68-11. 人工衛星の寿命計算プログラム 1- 50
- 68-12. 自動写真翻訳と目標物位置選定 1- 50
- 68-13. マルチリストを用いた人間-計算機
による問題解決 1- 51
- 68-14. 計算機の自動設計の調査 1- 52
- 68-15. \sqrt{x} の Newton-Raphson 計算のた
めの最適出発値 1-108
- 68-16. 線形方程式の直接解に対する計算可
能な誤差限界 2-108
- 68-17. 独立なプログラム間の交信を行なう
ための一方法 2-109
- 68-18. リスト処理言語における高速および
低速の記憶装置の使用 2-110
- 68-19. いろいろなリスト構造における能率
のよい Garbage Collection 手続 2-110
- 68-20. ブロック向きシステム設計における
考察 2-111
- 68-21. スタック・オートマトンとコンパイ
リング 2-111
- 68-22. Context Free 文法の認識装置の能
率について 2-112
- 68-23. AEDNET: 非線型回路網のための
シミュレータ 2-112
- 68-24. DDC システムにおけるデジタル
バックアップ 2-113
- 68-25. On-line デバックと Off-line デバック
の経験を基にした比較 2-113
- 68-26. ハミルトン・パスおよびナイトツァ
ーを見出す一方法 2-114
- 68-27. 計算機システムの性能の計算機によ
るシミュレーション 3-164
- 68-28. 線型系でのデータと解との適合性に
ついて 3-164
- 68-29. 一次元熱方程式の数値解を求める
Chebyshev 法について 3-165
- 68-30. オンラインでシンボルを操作するシ
ステム 3-166
- 68-31. GRASP 図形サービスプログラム 3-167
- 68-32. データレスプログラミング 3-168
- 68-33. 計算機用言語の構文と翻訳を記述す
るための一形式的大系 3-169
- 68-34. 障害が生じても誤動作しない計算機
の設計 3-169
- 68-35. 汎用計算用分散処理システム 3-170
- 68-36. コンテクリストフリー文法の構造的
等価性 3-171
- 68-37. デジタル像のホログラフ化による
表示 4-226
- 68-38. 誤り検出機能をもつシーケンシャル
機械の設計 4-227
- 68-39. 製紙機の計算制御—線形確率制御理
論の応用 4-227
- 68-40. 効果的 DDC のための量子化とサン
プリング 4-228
- 68-41. 広い意味における Computer Aided
Design を実現するために AED でと
られている方法 4-228
- 68-42. 機械診断の構造的理論 4-228
- 68-43. 非決定性アルゴリズム 4-229
- 68-44. 計算機による計算機システム評価シ
ミュレーション 4-230
- 68-45. デジタルプロッタによりだ円また
は双曲線をかくアルゴリズム 4-230
- 68-46. 自動回路網解析プログラム:
SCEPTRE 4-231
- 68-47. PHENO-ハイブリット計算要素の
新しい概念 4-231
- 68-48. くり返し構造型汎用計算機とその非
同期動作 4-232
- 68-49. 高速フーリエ変換の計算について 4-233
- 68-50. 有限フーリエコサイン変換に帰着さ
せるラプラス逆変換の数値解法 4-234
- 68-51. FACOM 230-50 主記憶優先権導入
の理由 4-234
- 68-63. Maitra Cascade 回路への Karnaugh
Map の適用 5-295
- 68-64. シルバニア・データ・タブレット:
グラフィック・データ入力のための新
方式 5-295
- 68-65. マルチプログラミング・システムの

パフォーマンスの測定と分析……………	5-296	国際音響学会議東京で開催さる……………	6-358
68-66. 万能論理回路とそのモジュールによ る実現……………	5-297	日本情報処理開発センターに中央研修所……………	6-358
68-67. バッチ処理のための記憶装置多重機構	6-356	IFIP Congress '68 と計算機ショー……………	6-358
68-68. 時分割環境における図形によるデー タマネジメント……………	6-356	IFIP/TC 2/WG 2.1, WG 2.2 開かる……………	6-359
68-69. PL/1 の形式的定義について……………	6-357		
		雑 報	
書 評		International Congress on Cybernetics の論 文募集について……………	6-359
学習機械——訓練によってパターン認識を学 習するシステム——……………	1- 53	数値制御機械のプログラミング言語 (Progr- amming Languages for Numerically Con- trolled Machine Tools 略称 PROLAMAT) の国際会議……………	6-359
Computer Simulation Techniques……………	4-236		
		本会記事	
ニュース		研究委員会報告……………	2-119
Prof. Jakobson の来日について……………	1- 54	情報処理月例会……………	2-120
GPSS の開発者, G. ゴードン氏来日……………	1- 54	第 6 回通常総会……………	3-175
万国 OR 会議 (ORAW Japan Meeting)……………	1- 54	情報処理月例会……………	3-179
昭和42年度電子通信学会開かる……………	1- 55	Wilkes 教授講演会……………	3-179
KEIO-TOSBAC TSS デモンストレーション…	1- 55	研究委員会報告……………	3-179
国産電算機の海外進出始まる……………	2-115	情報処理月例会……………	4-239
日本電気で純国産のグラフィック CRT ディ スプレイ装置を開発……………	2-115	研究委員会報告……………	4-239
LINC-8 が東京医科歯大へ……………	2-116	研究委員会報告……………	6-360
(財)日本情報処理開発センターが発足……………	2-116		
京都大学数理解析研究所の近況……………	2-116	関西支部	
FJCC 67 開催さる……………	2-117	特別講演会報……………	1- 56
第 1 回システム・サイエンス国際会議……………	2-117	研究会報告……………	1- 57
EDSAC 1 の設計者 M. V. ウイルクス教授来日	3-172	42 年度第 1 回評議員会議……………	2-120
九州大学に大型計算機センターを設置……………	3-172	研究会報告……………	2-120
郡山操車場稼働開始……………	3-173	42 年度第 1 回見学会……………	2-120
日米計数言語学調査セミナー開かる……………	3-173	研究会報告……………	3-180
PDP-9 が東大医学部へ……………	4-237	支部総会……………	4-239
江崎, Andrews 両博士 (IBM) が来日……………	4-237	研究会報告……………	4-240
東芝(株) 青梅工場が完成……………	4-237		
ALGOL 68 原案公開さる……………	4-238	会 告	
電電公社におけるデータ通信サービス部門の 強化……………	5-298	G. Gordon 氏の講演会……………	1- 56
九州大学大型計算機センターに米軍機墜落……………	5-298	研究委員会報告……………	1- 56
1968 INTERMAG Conference……………	5-299	第 8 回大会……………	1- 56
1968 SJCC……………	5-299	第 9 回大会論文募集……………	3-色紙
情報科学「若手の会」発足……………	5-299	第 9 回大会プログラム……………	6-色紙